

学科名	建築・デザイン学科						
科目名	建築と構造						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	1年次後期		
必修・選択の別	必修科目(建築工学コース)/必修科目(建築コース)/選択科目(デザインコース)						
担当者	中山 直樹						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・建築物の構成を体系的に記述できる。(A6,B1) ・建築物に作用する力について理解し記述できる。(A6,B1) ・木構造、鉄筋コンクリート構造、鋼構造の特質と各部名称を記述できる。(A6,B1) ・基本的な基礎形式について記述できる。(A6,B1) 						
日程と内容	<p>9/17 導入講義：授業の進め方と概要の説明、成績評価法 9/24 建築構造のあらまし：成り立ち、歴史的発展、分類 10/ 1 建築物にはたらく力、関連する法律など 10/ 8 木構造の特徴と構造形式、木材、木材の接合、基礎 10/15 木構造の軸組について 10/22 木構造の小屋組、床組、その他 10/29 木構造の補足講義と演習(1) 11/12 鉄筋コンクリート構造の特徴と構造形式、使用材料 11/19 鉄筋コンクリート構造の基礎(建築物基礎の総括) 11/26 鉄筋コンクリート構造の主体構造、その他 12 /3 鉄筋コンクリート構造の補足講義と演習(2) 12/10 鋼構造の特徴と構造形式、鋼材、鋼材の接合、基礎 12/17 鋼構造の骨組および各部材について、その他 12/24 鋼構造の補足講義と演習(3) 1/14 定期試験(試験範囲は第1回～14回までの講義・演習内容の全て) 1/21 総まとめ</p>						
成績評価基準	定期試験	70%	実技	-			
	臨時試験	-	部外評価	-			
	報告書・レポート	-	プレゼンテーション	-			
	課題	-					
	演習	30%	計	100%			
授業到達目標の達成度	<p>評価点について履修者96名中で不合格者7名(7.3%)であるが、その内容は1名を除き出席不足による評価対象外であるため、これは目標達成の指針にはならない。 合格者89名中で考えると、試験点数80点以上が57名(64%)は、まずまずの達成度だと思われる。</p>						
反省点	<p>本年度顕著に感じたのは注意にもかかわらず私語が多く、1年次後期という時期に於ける学生諸氏の建築学に対する目的意識が低いように思われる。ゆえに、その意識の向上を図る必要がある。</p>						
来年度の計画	<p>前年度と同様に、理解度(初歩的建築用語の習得)を深めるために演習をテスト形式ではなく教科書参照形式として重要ポイントの認識を高めようとした結果は良かったようなので、次年度も同様な演習を実施しようと思っている。</p>						
授業評価アンケートに対するコメント	<p>科目毎のアンケートで提出回数が多いためか、記入の面倒さからか、学生諸氏の半数近くが「いいかげんな記入であるように思える。真摯な意見もあるようなので、講義成果向上の一助としたい。</p>						
履修登録者数	96名	定期試験 受験者数	90名	合格者数	89名	合格率	99%